



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月2日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 晴央 TEL (03)6202-2600(代)
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	278,863	△4.3	10,394	16.9	7,389	0.9	2,166	△50.0
28年3月期第2四半期	291,383	3.8	8,891	△31.9	7,323	△37.5	4,331	△22.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △13,552百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 4,148百万円 (△56.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	5.07	—
28年3月期第2四半期	10.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	639,966	163,561	23.6	353.45
28年3月期	662,543	178,582	24.9	385.88

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 151,151百万円 28年3月期 165,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年3月期	—	3.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	4.2	24,500	61.1	20,000	66.5	9,000	76.3	21.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 2社 （社名）UACJ North America Inc. 、 UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	428,281,934株	28年3月期	428,281,934株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	639,963株	28年3月期	607,582株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	427,658,264株	28年3月期2Q	427,745,519株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国や欧州においては緩やかな景気回復が持続しました。中国においては景気が緩やかに減速しております。新興国においては各国ばらつきがありますが、全体としては回復基調であります。

我が国経済は、雇用は底堅いものの個人消費が弱含みであり、更に円高等によるインバウンド需要の鈍化や天候不順もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの業績については、前年同期比での地金価格下落の影響を受け、売上高は278,863百万円（前年同期比4.3%減）となりました。損益については、地金価格下落に伴う棚卸評価関係の悪化等の影響があるものの、売上数量の増加やコストダウン等により、営業利益は10,394百万円（同16.9%増）となりました。経常利益については、米国の自動車パネル用アルミニウム材製造・販売事業の立ち上げコストの増加に伴う持分法投資損益の悪化や、戦略投資先行に伴う利息負担の増加等により、7,389百万円（同0.9%増）に留まりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別利益として受取保険金を計上した前期を下回り、2,166百万円（同50.0%減）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界の国内需要については、板類では、好調なボトル缶需要を背景に飲料缶用需要が堅調な推移を見せました。また、自動車分野においてもアルミ外板を採用した人気車種のモデルチェンジに伴う需要増が継続したことにより、板類全体で対前年プラスとなりました。押出類に関しては、トラック・バス関連需要が引き続き好調であり、全体をけん引する形で、内需総量も対前年微増の結果となりました。

当社グループの国内向売上数量は、上記全体需要とほぼ同様の傾向であり、板押出ともに前年を超える結果となりました。グループ全体での飲料用缶材については、タイ王国の板圧延工場（UACJ（THAILAND）CO., LTD.）での一貫生産が本格化したことにより、米国（Tri-Arrows Aluminum Inc.）を含む世界三極での合計数量は大幅に増加いたしました。また自動車分野に関しても、国内パネル需要の増加と、UACJ（THAILAND）CO., LTD.での自動車用熱交換器材の量産開始により対前年大きく増加となりました。

このような販売状況であったものの、前年同期比での地金価格下落の影響を受け、当第2四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は、222,853百万円（前年同期比4.3%減）となりました。営業利益については、地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化等があったものの、売上数量の増加やコストダウン等により、11,902百万円（同14.3%増）となりました。

伸銅品事業

主要な用途であるエアコンの出荷台数が前半までは猛暑予想の影響で前年を上回る出荷であったこともあり、当社グループの銅管の販売量は伸長しました。一方で銅地金価格は大幅に下落しており、当第2四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は21,671百万円（前年同期比11.2%減）となりました。また、大幅な地金価格下落に伴う棚卸評価関係の悪化の影響等により、営業利益は37百万円（同90.3%減）となりました。

加工品・関連事業

主要顧客の需要減退等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は79,363百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は1,487百万円（同18.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があったものの、円高による為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末と比べて15,021百万円減少し、163,561百万円となりました。

総資産については、米国の自動車用アルミニウム構造材・各種部品等の製造販売会社の持分を取得し、新たに連結子会社にしたことによる増加があるものの、為替換算による影響等により、前連結会計年度末と比べて22,577百万円減少し、639,966百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月11日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、UACJ North America Inc. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc. を設立し、同社を通じてSRS Industries, LLCの全持分を取得したため、両社及びSRS Industries, LLCのグループ会社を連結の範囲に含めております。

なお、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc. は、取得後にSRS Industries, LLCを吸収合併しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,934	15,839
受取手形及び売掛金	115,103	108,031
商品及び製品	30,780	25,301
仕掛品	47,617	42,145
原材料及び貯蔵品	30,875	33,440
その他	20,120	18,712
貸倒引当金	△20	△23
流動資産合計	263,409	243,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,566	60,130
機械装置及び運搬具(純額)	93,100	89,792
土地	115,150	114,672
その他(純額)	21,088	22,055
有形固定資産合計	292,904	286,649
無形固定資産		
のれん	43,232	50,023
その他	17,580	16,110
無形固定資産合計	60,812	66,133
投資その他の資産		
投資有価証券	29,363	26,575
その他	16,136	17,277
貸倒引当金	△81	△112
投資その他の資産合計	45,419	43,740
固定資産合計	399,135	396,522
資産合計	662,543	639,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,090	93,025
短期借入金	63,921	52,435
1年内償還予定の社債	2,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	47,714	40,483
未払法人税等	1,508	2,563
その他	35,052	24,748
流動負債合計	249,784	215,755
固定負債		
社債	5,000	3,750
長期借入金	169,871	193,109
事業構造改善引当金	1,043	951
退職給付に係る負債	18,814	18,711
その他	39,449	44,130
固定負債合計	234,177	260,651
負債合計	483,961	476,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	73,041	73,041
利益剰余金	36,103	36,986
自己株式	△214	△222
株主資本合計	153,931	154,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,184	1,416
繰延ヘッジ損益	△1,003	△1,099
為替換算調整勘定	9,649	△5,055
退職給付に係る調整累計額	1,270	1,085
その他の包括利益累計額合計	11,100	△3,654
非支配株主持分	13,552	12,409
純資産合計	178,582	163,561
負債純資産合計	662,543	639,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	291,383	278,863
売上原価	257,115	242,923
売上総利益	34,267	35,940
販売費及び一般管理費	25,376	25,547
営業利益	8,891	10,394
営業外収益		
受取利息	81	366
受取配当金	230	321
その他	912	629
営業外収益合計	1,223	1,315
営業外費用		
支払利息	1,677	2,058
為替差損	315	913
その他	798	1,349
営業外費用合計	2,790	4,320
経常利益	7,323	7,389
特別利益		
固定資産売却益	69	109
受取保険金	1,219	-
その他	18	11
特別利益合計	1,306	119
特別損失		
固定資産除却損	264	399
減損損失	-	321
その他	12	271
特別損失合計	275	992
税金等調整前四半期純利益	8,354	6,516
法人税、住民税及び事業税	1,397	3,720
法人税等調整額	2,358	193
法人税等合計	3,754	3,913
四半期純利益	4,600	2,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	269	437
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,331	2,166

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	4,600	2,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△539	230
繰延ヘッジ損益	△1,020	241
為替換算調整勘定	△1,047	△13,899
退職給付に係る調整額	1,828	△361
持分法適用会社に対する持分相当額	327	△2,367
その他の包括利益合計	△452	△16,155
四半期包括利益	4,148	△13,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,863	△12,587
非支配株主に係る四半期包括利益	285	△965

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	204,167	18,545	68,671	291,383	—	291,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,648	5,870	14,656	49,174	△49,174	—
計	232,814	24,415	83,327	340,556	△49,174	291,383
セグメント利益	10,418	386	1,828	12,633	△3,742	8,891

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,742百万円には、たな卸資産の調整額△101百万円、セグメント間取引消去△169百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,472百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	197,563	15,796	65,504	278,863	—	278,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,289	5,875	13,859	45,024	△45,024	—
計	222,853	21,671	79,363	323,887	△45,024	278,863
セグメント利益	11,902	37	1,487	13,427	△3,034	10,394

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,034百万円には、たな卸資産の調整額64百万円、セグメント間取引消去△156百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,942百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。